進む間伐事業

木曽馬の里 団地

活発な意見交換

懇談会

地区懇談会

調査

テープ巻

GPS測量

間伐終了

間伐

伐倒

作業路作設

作業路

チップ道

チップ道

森林整備事業について

森林整備事業（間伐）の推進には、組合員ほか山林所有者の皆様のご理解とご協力を頂きましてありがとうございます。

現在「森林組合」では関係機関（県・市町村）のご指導とご協力の下、平成21年度の計画に沿って順調に作業を進めております。

近隣で作業を実施していますので、ご意見・ご要望等をお寄せ下さい。

『枝打ち作業を適正に行いましょう』

最近、個人で枝打ちをされた林を見ると、せっかく時間を掛けて手入れをされたのに、かわいそうな状態の木をよく見かけます。

●歳を取って来たので、次に木に登らなくても済むようにと、六m～八mほどで枝を打ち上げて、木の天辺に少しだけ枝の残った木。

●木に登るのが大変だからと、伸縮ポール式の枝打ち鋸で、出ベソの様に残ってしまった枝のたくさんある木。

長い年月を掛けて育ったヒノキです。ぜひ適正な手入れをしましょう。

◇十五年生～三十五年生まで（一～二m未満・二～四m未満・四～六m未満・六m以上）

○・一ha以上の面積で補助金の対象になりますので、お問い合わせ下さい。

枝打ち作業器具のお薦め

枝打ち鋸は「小目（こまめ）」と書かれた歯のものが、誰でも比較的きれいに枝打ちができます。また、枝打ちの梯子は幹に掛けて使う専用梯子があります。特に安全なダブルステップタイプのものをお薦めします。

（組合チラシ掲載）

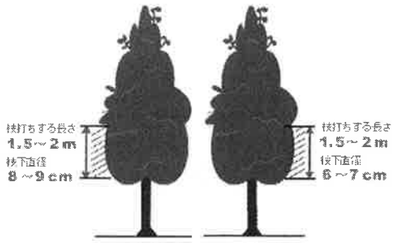
■針葉樹の枝打ち■

枝打ちの際にまず考えなくてはならないのは、①いつ（幹がどのくらいの太さになるまでに）、②どのくらいの量（幹のどのくらいの長さを打つか）を、枝打ちするかです。①は、枝下直径を基準に考えます。

陽樹冠と陰樹冠、枝下直径

生枝部分が陽樹冠、
枯枝の混じる部分が陰樹冠

無節材生産の枝打ち−針葉樹−
枝下直径が何センチまでに、どのぐらいの量を打つか？



12cm角柱材目標　10.5cm角柱材目標

■枝打ちの仕方■

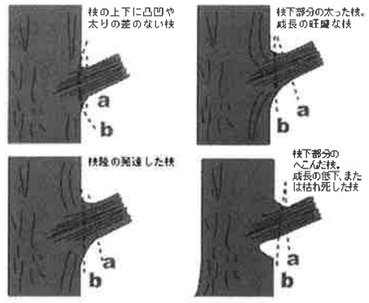
心持ち柱材で、無節の材をつくる場合を考えてみましょう。10.5cm角では、枝下直径が6～7cmになるまでに、12cm角の場合では、枝下直径が8～9cmになるまでに、枝打ちをすませておく必要があります。

1回に枝打ちする量は、幹の太さで1.5～2mの長さの範囲です。この量で、所定の高さに達するまで何回か枝打ちを繰り返します。

■枝の切断位置と切断のしかた■

枝の切断作業にあたっては、原則として幹に傷をつけないように注意します。幹に傷がつくとそこから内側に変色が生じて、材の価値を下げるからです。そのためには、切断の位置に注意します。

切断位置は、図１のとおりで、aの場所を切断します。
bの場所を切断すると幹に傷がついて変色が生じます。枝隆と呼ばれる枝の付け根の膨らみ（図１の右上、左下の場合）を切断すると変色が生じるので注意が必要です。



枝の切断位置
a：変色を避け、かつ残枝長を小さくするのに適
b：変色は発生しても残枝長を極力小さくするのに適